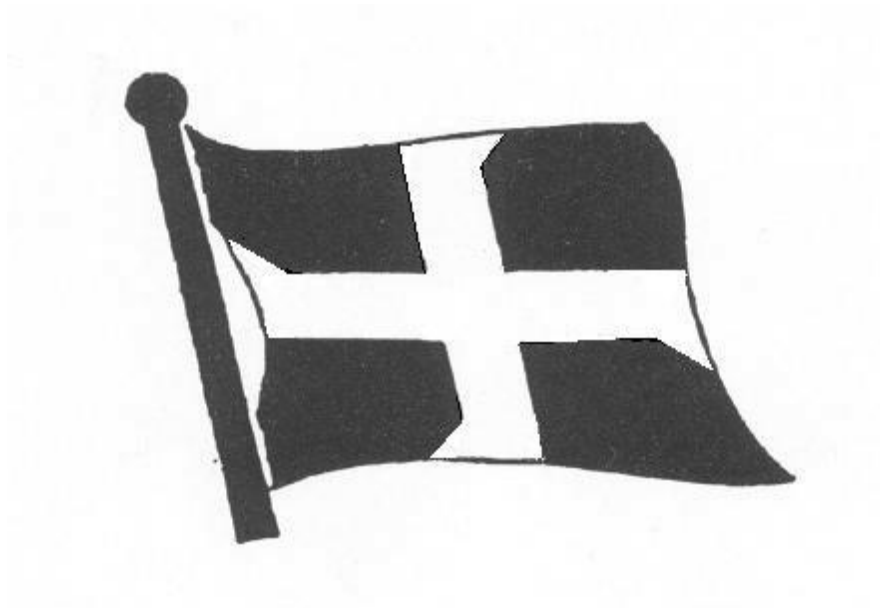


蒼穹 NEWS

No.5

関西インカレ・東大戦総括号

令和 3(2021)年11月8日発行



—目次—

- ①主将挨拶・女子主将挨拶・監督挨拶
- ②関西インカレ結果
- ③東大戦結果
- ④東大戦 OP 結果
- ⑤記録会等の結果

①主将挨拶・女子主将挨拶・監督挨拶

《主将挨拶》

去る10月19日から10月22日の4日間に渡って開催された関西インカレT&Fの部において、京大陸上部は4月22日開催のロードの部と合わせて男女総合60点という目標を掲げて臨みました。男子は54.5点、女子は京大2.5点京女2点を獲得しましたが、これらを合わせた点数は59点となり、目標には僅かに届きませんでした。

今回の関西インカレでは足立(4)、清水(4)、鈴木(4)の3名が入賞した10000mに代表されるような長距離種目、そして跳躍種目を中心に多くの点を積み重ねました。また、1回生ながら入賞した山中(1)や中芝(1)、三段跳で優勝した梶(2)などの下回生の活躍のほか、積極的な試合運びでチームを盛り上げた選手も多く見られました。

その一方で、男女両りレーとも予選落ちとなった短距離種目、これまで稼ぎ頭であった中距離種目では苦戦を強いられたことは紛れもない事実です。特にチームの精神的支柱とも言える両りレーについては早急な立て直しが必要と考えております。現在の自分の立ち位置と参加標準記録ないしは得点ラインとの差を明確にし、そこを埋める努力を部員の一人一人がひたすらに続けることが、部として関西インカレで戦い続けるうえで必要なことだと改めて痛感致しました。

そして10月31日には東大戦が東京大学駒場グラウンドにて開催されました。関西インカレで目標達成を逃した悔しさを晴らすべく部員一同が奮起し、男子は事前のランキングから更に上乗せして215点、女子は接戦を見事に制して36点を獲得、目標としていた男女総合優勝を果たすことが出来ました。

今回の東大戦は4回生にとっては幹部学年として最後の対校戦でしたが、そこに懸ける4回生の想いの強さを痛感する試合となりました。しかしながら、無観客かつ東京での開催の中でその活躍を支えた、下回生を中心とするサポートに回った部員の姿を見過ごすことはできません。チームが一丸となって東大戦に臨めたことが今回の結果に繋がったと考えております。

さて、東大戦をもって4回生が幹部学年として部を率いる期間は終了し、これからは3回生が率いるチームとなります。主将眞鍋、女子主将小西が中心となり、今季の残りの対校戦である京阪神、関西学生駅伝、京都駅伝、そして来季の対校戦を存分に戦い抜いてくれるものと期待しております。

蒼穹会の皆様には、無観客開催の試合が続く中でも多大なるご支援ご声援をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。現在は新型コロナウイルスの感染状況は落ち着いておりますが、まだまだ種々の規制緩和に結び付いていないのが現状です。蒼穹会の皆様に気兼ねなく競技会場に足を運んでいただける日が来た際に一層成長した姿をご覧いただけるよう、部員一同精進を重ねて参ります。今後とも変わらぬご支援ご声援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

京都大学陸上競技部主将 足立 舜

《女子主将挨拶》

先日、10月19日～22日にヤンマーフィールド長居にて関西インカレ T&F の部が、10月31日に東大駒場グラウンドにて東大戦が行われました。関西インカレでは、京大・京女合わせての男女総合60点を目標としていましたが、59点に終わり目標は達成できませんでした。一方、東大戦では無事に男女総合優勝の目標を達成することができました。

先に行われた関西インカレで、女子は得点を獲得した中芝(1)、小西(3)の両選手をはじめ、1500m で決勝に進出した中野(3)など今後に期待を抱かせる結果が見られました。一方今回、多くの種目はB標準での出場でした。来年以降に向けては、両りレーで決勝進出を果たした大阪大学のように、同一種目での複数選手の標準記録突破及びA標準の突破が求められます。

東大戦では、女子チームは事前ランキングで優勢という状況でした。そのような中、午前中は互角の戦いとなりましたが、ランキングで勝っていた400m、砲丸投でリードを奪い勝利を収めました。関西インカレからの連戦であることに加え、多くの選手が他種目出場となる厳しいコンディションの中でも、着実に力を発揮することができたと考えております。

蒼穹会の皆様には、日頃より多大なるご支援をいただいております。また、両大会においては、ライブ配信にもご注目くださり、現役部員への沢山のご声援をいただいたこと誠に感謝申し上げます。東大戦を持ちまして京大陸上部は、眞鍋(3)、小西(3)を中心としたチームに代替わり致しますが、今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。

京都大学陸上競技部女子主将 西川 真悠

《監督挨拶》

10月19日～22日にヤンマーフィールド長居にて関西インカレの2日目から5日目が開催されました。目標を男女総合60点と設定しておりましたが、あと1点に届かない59点となりました。私たちはこの1点を重く受け止め、今後は1点、0.01秒、1cmを削り出す努力をしていかなければなりません。しかし、そんな中で三段跳で梶(2)の堂々たる優勝や、七種競技で5種目のPBで女子に得点をもたらした小西(3)や、3種目で入賞し17点を獲得した足立(4)などの各所での活躍には目を見張るものがありました。来年度は、長距離のレベルが一気に上がることが予想され、男子の2部降格の可能性も視野に入れなければならない危機的な状況であります。私たちは高いレベルで勝負するためのレベルアップが必要となります。

関西インカレの約1週間後の10月31日に東大駒場グラウンドにて東大戦が開催されました。目標を男女総合優勝と設定し、見事に達成をいたしました。気温も低く雨も降り、関西インカレの疲労も残る中、決して良いコンディションではありませんでしたが、熱戦を繰り広げてくれました。特に主将女子主将の足立、西川(4)が率いる最後の対校戦に4回生が応え、多くの活躍が見られた対校戦となりました。全員が持っている力を十分に発揮し、圧巻とも言えるパフォーマンスでした。来年度以降の東大戦や七大戰では層が厚い4回生には頼ることができません。チームとしての底上げが課題となります。

最後になりますが、このような難しい情勢の中で関西インカレや東大戦の開催に尽力してくださった皆様、そして無観客試合で直接競技を目にすることができない中、いつも温かいご支援ご声援をくださる蒼穹会の皆様には感謝申し上げます。新チームとして、主将に眞鍋(3)、女子主将に小西(3)が就任し新たな1歩を踏み出し始めました。来年度もハイレベルな戦いを見せられるよう日々努力を積み重ねて参りますので、今後とも変わらぬご支援ご声援をよろしくお願いいたします。

京都大学陸上競技部監督 長谷川 隼

②関西インカレ結果

《第 98 回関西学生陸上競技対校選手権大会》

令和3年4月22日、10月19~22日

ヤンマーフィールド長居

男子総合の部

第1位	立命館大	116点
第2位	関西学院大	111.75点
第3位	関西大	81.75点
第4位	京都産業大	72点
第5位	大阪体育大	71点
第6位	近畿大	71点
第7位	びわろ大	62.75点
第8位	同志社大	59点
第9位	京都大	54.5点
第10位	大阪教育大	42点
第11位	天理大	38.75点
第12位	龍谷大	29.5点
第13位	大阪大	14点
第14位	大阪市立大	7点

男子トラックの部

第1位	立命館大	80点
第2位	関西学院大	73点
第3位	近畿大	71点
第7位	京都大	27点

男子フィールドの部

第1位	大阪体育大	48 点
第2位	天理大	37.75 点
第3位	びわスポ大	34.75 点
第8位	京都大	21.5 点

男子混成の部

第1位	立命館大	8 点
第2位	同志社大	7 点
第3位	びわスポ大	6 点
	京都大	0 点

女子総合の部

第1位	園田学園女子大	117.7 点
第2位	立命館大	100.5 点
第3位	大阪体育大	75.5 点
第25位	京都大	2.5 点
第26位	京都女子大	2 点

女子トラックの部

第1位	園田学園女子大	68 点
第2位	立命館大	68 点
第3位	甲南大	48 点
	京都大	0 点
	京都女子大	0 点

女子フィールドの部

第1位	大阪体育大	72.5 点
第2位	園田学園女子大	45.7 点
第3位	関西学院大	34 点
第18位	京都女子大	2 点
	京都大	0 点

女子混成の部

第1位	東大阪大	12 点
第2位	武庫川女子大	8 点
第3位	立命館大	6 点

第5位	京都大	2.5点
	京都女子大	0点

～種目別結果～

《ロードの部》

ヤンマーフィールド長居付設長距離競走路

～第1日目4月22日～

男子ハーフマラソン

《決勝》

- 1位 守屋 和希(関学大2) 1:05:09
 2位 坊池 一真(関西大4) 1:05:40
 3位 浦田 昂生(京産大4) 1:06:17
 4位 原田麟太郎(京都大M2) 1:06:26
 8位 鈴木洋太郎(京都大4) 1:06:55 自身初
 9位 足立 舜(京都大4) 1:07:18 自身初
 →6点獲得

《トラック&フィールドの部》

ヤンマーフィールド長居

令和3年10月19日～22日

～第2日目10月19日～

女子400m

《予選》

後藤 加奈(京都大M2) 1組7着 1:01.91

男子400m

《予選4-1+4》

小谷 哲(M2) 2組8着 57.42

浅井 良(M1) DNS

男子100m

《予選4-3+4》

武波 夏輝(4) 2組7着 10.98(-1.0)

加藤 寿昂(M1) 4組5着 10.90(-0.5)

男子110mH

《予選3-2+2》

永田 智季(4) 3組8着 15.49(-0.7)

女子4×100mR

《予選3-2+2》

奥村(4)－三好(2)－後藤(M2)－藤林(M2)

2組8着 51.61

男子4×100mR

《予選2-3+2》

山田(1)－加藤(M1)－田中(4)－武波(4)

2組6着 41.31



1走山田から2走加藤へのバトンパス。今季最高タイムを出すも決勝ラインには届かなかった

男子10000m

《決勝》

1位 亀田仁一路(関西大2) 30:11.33

2位 山崎 皓太(立命館大1) 30:22.52

3位 足立 舜(京都大4) 30:24.24

5位 清水 厚佑(京都大4) 30:29.44 自己新

6 位 鈴木洋太郎(京都大 4) 30:29.80 自己新
→13 点獲得

男子十種競技

《一日目得点》

長谷川 隼(M1) 2837 点

100m 11.83(+1.0)

走幅跳 5m85(+0.1)

砲丸投 8m33 自己新

走高跳 1m65 自己新タイ

400m 52.39



記録で決勝に進出した中野。今季の着実な成長を示した。

～2 日目終了時点での対校得点～

男子総合

1 位 京都産業大 23 点

2 位 京都大 19 点

3 位 関西大 15 点

女子総合

1 位 立命館大 23.5 点

2 位 園田学園女子大 20.5 点

3 位 大阪体育大 17 点

京都大 0 点

京都女子大 0 点

男子 1500m

《予選 2-4+4》

西川 洸平(1) 1 組 13 着 4:08.22 大学新

清原 陸(M1) 2 組 2 着 3:54.93 Q

木村 佑(M1) 2 組 12 着 4:03.40



予選 2 組を走る清原(302)と木村(299)。清原
は落ち着いた走りで決勝進出。木村は後半のペー
スアップに付いていけず予選敗退となった。

～第 3 日目 10 月 20 日～

男子棒高跳

《決勝》

1 等 三戸田湧司(関西学院大 3) 5m10

2 等 中島 央人(大阪教育大 2) 5m00

3 等 野呂 仁人(関西学院大 1) 4m80

黒川 泰暉(京都大 4) DNS

女子 1500m

《予選 3-3+3》

中野 紗希(3) 1組5着 4:38.42 q

女子やり投

《決勝》

- 1等 武本 紗栄(大体大4) 58m03
- 2等 中村 怜(東大阪大1) 52m78
- 3等 西川 明花(立命館大3) 46m13
- 10等 中野 水貴(京都大M1) 40m76

男子砲丸投

《決勝》

- 1等 下浦 大輝(大体大4) 15m11
- 2等 内海 祐樹(関西大3) 14m28
- 3等 草野 恒広(同志社大3) 14m12
- 11等 眞鍋 聡志(京都大3) 12m71

男子三段跳

《決勝》

- 1等 梶 慎介(京都大2) 15m47(+2.4)
公認 15m21(+2.0)
- 2等 畚野 翔太(天理大3) 15m24(+5.1)
公認 14m83(+0.6)
- 3等 植木 雄大(大阪市大2) 15m21(+4.5)
公認 15m19(+1.8)
- 7等 三神 惇志(京都大M2) 15m04(+2.0)
- 17等 齋藤 啓(京都大2) 14m26(+3.6)公認
無
→10点獲得



初優勝を果たした梶。1本目からトップを譲らない

跳躍で、京大に勢いを与えた。

女子1500m

《決勝》

- 1位 シェイラ・チェロティチ(明治国際医療大1) 4:24.40
- 2位 青木 彩帆(関学大3) 4:28.26
- 3位 窪 美咲(東大阪大2) 4:28.29
- 11位 中野 紗希(京都女子大3) 4:46.36

男子1500m

《決勝》

- 1位 武村 知浩(龍谷大4) 4:04.71
- 2位 藪内 勇也(近畿大4) 4:04.82
- 3位 岩谷 悠(関西大4) 4:04.86
- 7位 清原 陸(京都大M1) 4:06.52
→2点獲得

男子十種競技

《合計得点》

- 1等 川元莉々輝(立命館大2) 7016点
- 2等 高須賀 蓮(同志社大3) 6847点
- 3等 舞薗 孝紀(びわスポ大3) 6792点
- 13等 長谷川 隼 5305点
- 100m 11.83(+1.0)
- 走幅跳 5m85(+0.1)
- 砲丸投 8m33 自己新
- 走高跳 1m65 自己新タイ
- 400m 52.39
- 110mH 15.65(+2.4)
- 円盤投 22m07
- 棒高跳 3m20 自己新タイ
- やり投 38m14
- 1500m 4:59.51

～3日目終了時点での対校得点～

男子総合

- 1位 関西学院大 59.75点
- 2位 立命館大 51点
- 3位 京都産業大 45点
- 6位 京都大 31点

女子総合

- 1位 園田学園女子大 59.5点
- 2位 立命館大 50.5点
- 3位 武庫川女子大 35点
- 京都大 0点
- 京都女子大 0点

～第4日目 10月21日～

女子円盤投

《決勝》

- 1等 中瀬 綺音(大体大2) 43m02
 - 2等 柳野 響木(明治国際医療大1) 41m35
 - 3等 渡部 舞(大体大3) 40m57
 - 7等 中芝 美玖(京都女子大1) 37m13
- 2点獲得



ランキングを覆し7位に入った中芝

女子200m

《予選5-2+6》

- 三好 紗椰(京都大2) 3組5着 26.57(-0.6)

男子200m

《予選4-3+4》

- 梶原 隆真(M1) 2組7着 22.53(+0.4)

女子800m

《予選3-2+2》

- 西川 真悠(京都大4) 1組7着 2:23.19

男子800m

《予選4-1+4》

- 木村 佑(M1) 2組7着 1:57.95
- 土屋維智彦(M2) 4組6着 1:59.93
- 中尾 友哉(4) DNS

女子400mH

《予選4-1+4》

- 藤林 悠希(M2) 2組7着 1:06.81

男子400mH

《予選3-2+2》

- 酒井 良佑(4) 3組5着 54.90

男子円盤投

《決勝》

- 1等 坂口 昇大(京産大1) 45m48
- 2等 足立 琉希(びわスポ大1) 45m38
- 3等 鶴崎 誠(関学大1) 44m40
- 14等 眞鍋 聡志(京都大3) 38m48 自己新

男子走幅跳

《決勝》

- 1等 吉田 弘道(立命館大4) 7m92(+0.1)

NGR

- 2等 藤田 匠海(立命館大3) 7m44(+1.9)

3 等 清水 陸(関学大 2) 7m39(+0.6)

7 等 村田 憧哉(京都大 4) 7m21(+0.8)

自己新

→2 点獲得



1 本目で自己記録を更新し 7 位に入賞した村田

男子 5000m

《決勝》

1 位 山田 真生(立命館大 3) 14:07.59

2 位 泉 海地(京産大 4) 14:09.19

3 位 足立 舜(京都大 4) 14:14.17 自己新

8 位 鈴木洋太郎(京都大 4) 14:36.32 自己新

13 位 清水 厚佑(京都大 4) 14:50.49

→7 点獲得



自己新で 3 位に入った足立。計 17 得点を獲得し
主将の意地を見せた。

女子 4×400mR

《予選 3-2+2》

三好(2)-後藤(M2)-藤林(M2)-大坂(M2)

2 組 5 着 4:03.55



3 走藤林から 4 走大坂へのバトンパス。最後の関
西インカレで気持ちのこもった走りを見せた。

男子 4×400mR

《予選 2-3+2》

小谷(M2)-藤田(4)-室(3)-小原(M2)

2 組 6 着 3:16.56

女子七種競技

《1 日目得点》

小西 菜月(3) 2634 点 自己新

100mH 15.61(-0.6) 自己新

走高跳 1m63 自己新

砲丸投 9m10

200m 28.02(-0.1) 自己新

～4 日目終了時点での対校得点～

男子総合

1 位 立命館大 79 点

2 位 関西学院大 77.75 点

3 位 京都産業大 64 点

6 位 京都大 40 点

女子総合

- 1 位 園田学園女子大 64.5 点
- 2 位 立命館大 56.5 点
- 3 位 大阪体育大 47 点
- 23 位 京都女子大 2 点
- 京都大 0 点

～第 5 日目 10 月 22 日～

男子 10000mW

《決勝》

- 1 位 石田 昂(立命館大 4) 40:41.93
- 2 位 柳原 隼(びわスポ大 4) 40:49.57
- 3 位 藤木 淳史(関学大 3) 41:41.12
- 10 位 平岡 拓(京都大 4) 48:30.56
- 11 位 池田 尚平(京都大 3) 48:46.84

男子走高跳

《決勝》

- 1 等 市田 晃成(天理大 3) 2m11
- 2 等 岡田 雅之(天理大 3) 2m08
- 3 等 山中 駿(京都大 1) 2m08
- 7 等タイ 坂口 裕飛(京都大 4) 2m00
- 7.5 点獲得

男子やり投

《決勝》

- 1 等 秦 康太(大体大 3) 69m20
- 2 等 末次 仁志(大体大 3) 69m17
- 3 等 片川 志遠(大体大 3) 67m22
- 7 等 澤田 剛(京都大 M1) 62m98
- 16 等 山野 陽集(京都大 4) 52m17
- 2 点獲得



7 位入賞の澤田。2 投目で記録を伸ばしたが、自身の持つ京大記録には及ばなかった。

男子 3000mSC

《決勝》

- 1 位 嶋谷鐘二郎(関西大 3) 8:58.84
- 2 位 武村 知浩(龍谷大 4) 8:59.44
- 3 位 岡田 晃成(関学大 1) 9:07.71
- 4 位 足立 舜(京都大 4) 9:09.51
- 10 位 市原 詩音(京都大 2) 9:26.54 自己新
- 11 位 吉村 柊太(京都大 4) 9:31.05
- 5 点獲得

女子七種競技

《合計得点》

- 1 等 安達 杏香(武庫川女子大 4) 4806 点
- 2 等 中地 真菜(東大阪大 1) 4698 点
- 3 等 山下紗稀子(立命館大 4) 4649 点
- 6 等タイ 小西 菜月(京都大 3) 4431 点
- 自己新・**京大新**

100mH 15.61(-0.2) 自己新

走高跳 1m63 自己新

砲丸投 9m10

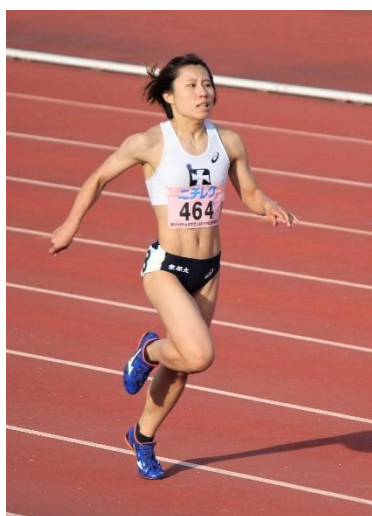
200m 28.02(-0.1) 自己新

走幅跳 4m97(±0.0)

やり投 37m19 自己新

800m 2:34.87 自己新

→2.5 点獲得



例年は関西インカレ詳細を設けておりますが、
今大会は無観客開催ということで割愛させていただきます。代替として試合の動画を
YouTube に限定公開しておりますので、以下
のリンクよりご覧いただければ幸いです。
(HP 版ではリンクは割愛しています)

5 種目で自己記録を更新した小西。京大のトラック
最終種目となった 800m まで、チームを大いに
盛り上げた。

③東大戦結果

東京大学駒場グラウンド
令和 3 年 10 月 31 日

男子総合の部

第 1 位	京都大学	215 点
第 2 位	東京大学	155 点

男子トラックの部

第 1 位	京都大学	109 点
第 2 位	東京大学	94 点

男子フィールドの部

第 1 位	京都大学	106 点
第 2 位	東京大学	61 点

女子総合の部

第 1 位	京都大学	36 点
第 2 位	東京大学	30 点

女子トラックの部

第1位	京都大学	25点
第2位	東京大学	21点

女子フィールドの部

第1位	京都大学	11点
第2位	東京大学	9点

～種目別結果～

男子400mH

- 1位 酒井 良佑 京都大4 54.26
- 2位 柏木 龍太 東京大5 54.61
- 3位 向井 一真 東京大2 56.22
- 4位 岩崎 光起 京都大2 56.35 大学新
- 5位 ウォルシュ 禅 東京大3 56.71
- 金盛 圭悟 京都大1 失格

→9点獲得

対校得点 京大9 東大11



関西インカレB標準を突破した鴛原。この種目で
見事スコルクを達成し京大に勢いを与えた。

男子走高跳

- 1位 阪口 祐飛 京都大4 2m00
- 2位 山中 駿 京都大1 2m00
- 3位 鴛原 泰輝 京都大2 1m95 自己新
- 4位 大川 晴斗 東京大1 1m90
- 5位 後藤 拓己 東京大3 1m75
- 廣瀬 颯真 東京大1 NM

→15点獲得

対校得点 京大24 東大16

男子100m 風速-0.5

- 1位 馬上 凌 東京大4 10.84
- 2位 武波 夏輝 京都大4 10.88
- 3位 田中 大智 京都大4 10.96
- 4位 山田慎之介 京都大1 10.99
- 5位 横山 雄大 東京大2 11.04
- 6位 新倉 佑輔 東京大2 11.04

→12点獲得

対校得点 京大36 東大25

女子100m 風速+1.3

- 1位 内山 咲良 東京大 6 12.37
 - 2位 三好 紗椰 京都大 2 12.80 自己新
 - 3位 奥村 夏子 京都大 4 13.92
 - 4位 真柳 優衣 東京大 1 14.89
- 5点獲得

対校得点 京大 5 東大 5

男子円盤投

- 1位 眞鍋 聡志 京都大 3 37m86
 - 2位 鄭 晟皓 京都大 4 30m15 自己新
 - 3位 安藤 正貴 京都大 1 29m33 自己新
 - 4位 三浦 勁士 東京大 4 26m43
 - 5位 永本 裕貴 東京大 4 21m99
 - 6位 林 大智 東京大 2 17m85
- 15点獲得



3位に入った安藤の投擲。この種目でもスコルクを達成し着実に東大との差を広げた。

対校得点 京大51 東大31

男子1500m

- 1位 足立 舜 京都大 4 3:59.41 自己新
- 2位 久田 淳司 東京大 4 4:00.25
- 3位 道岡 聖 東京大 4 4:01.65

- 4位 鬼頭 壮平 東京大 4 4:03.26
 - 5位 川口 修大 京都大 3 4:10.90 自己新
 - 6位 西川 洸平 京都大 1 4:13.05
- 9点獲得

対校得点 京大 60 東大 42

男子走幅跳

- 1位 仲村 快太 京都大 4 7m01(+1.6) 自己新
 - 2位 齋藤 啓 京都大 2 6m96(+1.3)
 - 3位 村田 憧哉 京都大 4 6m86(+2.0)
 - 4位 久保 亘 東京大 2 6m74(+1.5)
 - 5位 星野 祐輝 東京大 4 6m62(+1.7)
 - 6位 杉浦 天斗 東京大 1 6m40(+0.7)
- 15点獲得



自己新で優勝した仲村。跳躍パートの強さを存分に見せつけるスコルクであった。

対校得点 京大 75 点 東大 48 点

女子走幅跳

- 1位 内山 咲良 東京大 6 5m49(+1.2)
- 2位 小西 菜月 京都大 3 4m78(+1.6)
- 3位 奥村 夏子 京都大 4 3m92(+0.4) 自身初
- 4位 田中梨咲子 東京大 1 3m42(+1.3)

→5 点獲得

対校得点 京大10 東大10

男子ハンマー投

- 1 位 厚川 大亮 東京大 4 36m26
- 2 位 眞鍋 聡志 京都大 3 26m20
- 3 位 三浦 勁士 東京大 4 23m71
- 4 位 永本 裕貴 東京大 4 23m63
- 5 位 安藤 正貴 京都大 1 18m18 自己新
- 6 位 岡本 亜哲 京都大 1 15m49 自身初

→8 点獲得

対校得点 京大 83 点 東大 61 点

男子 400m

- 1 位 藤田 雄大 京都大 4 50.05
- 2 位 前田 朝陽 京都大 4 50.46
- 3 位 高橋怜央名 東京大 6 50.86
- 4 位 室 和希 京都大 3 50.87
- 5 位 高橋 創 東京大 2 51.10
- 6 位 奥田 航平 東京大 2 51.53

→14 点獲得



東大と激しく競り合う京大の 3 選手
(左から室、藤田、前田)

対校得点 京大 97 点 東大 68 点

女子 800m

- 1 位 西川 真悠 京都大 4 2:26.32
- 2 位 花渕 真生 東京大 4 2:28.63

3 位 阿隅 杏珠 東京大 4 2:28.86

4 位 日野谷レナ 京都大 2 2:39.83

→5 点獲得

対校得点 京大 15 点 東大 15 点

男子棒高跳

- 1 位 黒川 泰暉 京都大 4 4m00
- 2 位 高村 直也 東京大 4 3m90
- 3 位 鄭 晟皓 京都大 4 3m20
- 4 位 永本 裕貴 東京大 4 3m10
- 5 位 深井颯一郎 京都大 1 3m00 自己新
- 6 位 柏木 龍太 東京大 5 2m60

→12 点獲得

対校得点 京大 109 点 東大 77 点

男子 4×100mR

- 1 位 東京大
増田(4)—横山(2)—新倉(2)—馬上(4) 41.75
- 2 位 京都大
山田(1)—吉田(3)—田中(4)—武波(4) 41.78

→2 点獲得

対校得点 京大 111 点 東大 83 点

男子 5000mW

- 1 位 保田亜久利 東京大 4 21:57.17
- 2 位 平岡 拓 京都大 4 22:10.09 自己新
- 3 位 松原 亘希 東京大 4 22:21.34
- 4 位 尾原 翔 京都大 2 22:38.50 大学新
- 5 位 上野 和雅 東京大 3 22:42.58
- 6 位 池田 尚平 京都大 3 22:59.08

→9 点獲得



連戦の中で自己記録を更新した平岡

対校得点 京大 120 点 東大 95 点

男子砲丸投

- 1 位 眞鍋 聡志 京都大 3 12m02
 - 2 位 鄭 晟皓 京都大 4 9m76
 - 3 位 三浦 勁士 東京大 4 9m70
 - 4 位 安藤 正貴 京都大 1 7m68 自身初
 - 5 位 石丸 智也 東京大 3 7m66
 - 6 位 福井 透 東京大 1 7m06
- 14 点獲得

対校得点 京大 134 点 東大 102 点

女子砲丸投

- 1 位 小西 菜月 京都大 3 9m35 自己新
 - 2 位 内山 咲良 東京大 6 9m06
 - 3 位 篠田 佳奈 京都大 1 7m45 自身初
 - 4 位 白井 帆香 東京大 3 4m17
- 6 点獲得

対校得点 京大 21 点 東大 19 点

女子 400m

- 1 位 三好 紗椰 京都大 2 1:01.33

- 2 位 西川 真悠 京都大 4 1:03.45
 - 3 位 花渕 真生 東京大 4 1:08.76
 - 4 位 町田 黎子 東京大 4 1:11.42
- 7 点獲得



東大に圧倒的な差をつけてスコンクを達成した三好(左)と西川(右)

対校得点 京大 28 点 東大 22 点

男子 800m

- 1 位 西川 洸平 京都大 1 1:55.67 自己新
 - 2 位 北岸 健吾 東京大 1 1:56.09
 - 3 位 川井 景太 京都大 4 1:57.57
 - 4 位 乙守倫太郎 京都大 4 2:02.16
 - 5 位 池野 諒 東京大 4 2:05.69
 - 高橋 創 東京大 2 途中棄権
- 13 点獲得



最後の直線で逆転し優勝の西川。この種目で京大はランキングを大きく覆し13点を獲得した。

対校得点 京大 147 点 東大 109 点

男子 200m 風速+0.8

- 1 位 武波 夏輝 京都大 4 22:05 自己新
 - 2 位 新倉 佑輔 東京大 2 22.14
 - 3 位 田中 大智 京都大 4 22.42
 - 4 位 松永 隆宏 東京大 2 22.77
 - 5 位 藤浦 敦士 京都大 2 22.87 自己新
 - 6 位 増田 多聞 東京大 4 23.25
- 12 点獲得



この日 3 本目のレースも自己新記録の武波。今季の勢いを象徴するような優勝であった。

対校得点 京大 159 点 東大 118 点

男子三段跳

- 1 位 梶 慎介 京都大 2 15m02(+0.3)
 - 2 位 星野 祐輝 東京大 4 14m34(+0.5)
 - 3 位 岩井 響平 京都大 4 14m18(+0.6)
 - 4 位 齋藤 啓 京都大 2 14m06(+0.5)
 - 5 位 久保 亘 東京大 2 13m59(+0.4)
 - 6 位 金川 明仁 東京大 1 12m12(+0.2)
- 13 点獲得

対校得点 京大 172 点 東大 126 点

男子 110mH 風速+0.6

- 1 位 馬上 凌 東京大 4 14.87
 - 2 位 酒井 良佑 京都大 4 15.19 自己新
 - 3 位 永田 智季 京都大 4 15.20
 - 4 位 高橋 遼平 東京大 2 15.36
 - 5 位 向井 一真 東京大 2 16.06
 - 6 位 中村 鮎夢 京都大 3 16.70
- 10 点獲得



400mH 優勝の勢いのまま接戦を制し、2 位に食い込んだ酒井

対校得点 京大 182 点 東大 137 点

女子 3000m

- 1 位 阿隅 杏珠 東京大 4 10:47.79
2 位 藤本 涼 京都大 4 10:51.46
3 位 小柳 舞夏 東京大 3 10:52.07
4 位 周藤 紗季 京都大 1 11:17.90 自己新
→4 点獲得



先頭を走る藤本(367)と4番手で食らいつく周藤(376)。周藤は大幅に自己記録を更新した。

対校得点 京大 32 点 東大 28 点

男子やり投

- 1 位 山野 陽集 京都大 4 57m83
2 位 仲村 快太 京都大 4 44m80 自身初
3 位 三浦 勁士 東京大 4 43m30
4 位 鄭 晟皓 京都大 4 41m30 自己新
5 位 福井 透 東京大 1 40m07
6 位 高橋怜央名 東京大 6 35m89
→14 点獲得

対校得点 京大 196 点 東大 144 点

男子 5000m

- 1 位 足立 舜 京都大 4 14:27.56

- 2 位 清水 厚佑 京都大 4 14:28.96 自己新
3 位 瀬川 莉玖 東京大 3 14:29.80
4 位 久田 淳司 東京大 4 14:33.97
5 位 鈴木洋太郎 京都大 4 14:54.46
6 位 中根美七海 東京大 3 15:17.04
→13 点獲得



積極的に前を走る京大勢。2位の清水(319)は落ち着いたレース運びで自己新記録。

対校得点 京大 209 点 東大 152 点

女子 4×100mR

- 1 位 京都大
奥村(4)—三好(2)—小西(3)—西川(4) 52.21
2 位 東京大
真柳(1)—花渕(4)—町田(4)—白井(3) 59.31
→4 点獲得



女子最終種目の4×100mRで勢いよくスタート
を切った1走奥村

対校得点 京大 36 点 東大 30 点

男子4×400mR

1 位 京都大 前田(4)―室(3)―酒井(4)―藤田
(4) 3:20.41

2 位 東京大 柏木(5)―松永(2)―奥田(2)―高
橋(6) 3:21.36

→6 点獲得



1 走前田が僅差で 2 走室にバトンパス。最後まで
どちらが勝つか分からない接戦を演じた。

対校得点 京大 215 点 東大 155 点

例年は東大戦詳細を設けておりますが、今大会は無観客開催ということで割愛させていただきます。

代替として試合の動画を YouTube に限定公開しておりますので、以下のリンクよりご覧いただければ幸いです。

(HP 版ではリンクは割愛しています)

④東大戦OP結果

▼男子 100m			
野田 真志	11.51	+2.3	
湯谷 樹生	11.67	+1.6	
山崎 貴仁	11.72	+2.3	
高橋 惇寿	12.01	+2.3	
▼男子 200m			
宮園 隼人	24.46	±0.0	大学初
▼男子 800m			
清原 陸	1:56.09		
木村 佑	2:00.36		
山田 大智	2:01.97		
平山 悦章	2:02.79		
山口 佐助	2:03.72		
鶴見 薫樹	2:04.28		自己新
小崎 舜真	2:13.22		
土屋維智彦	2:14.36		
▼男子 1500m			
清原 陸	4:06.11		
土屋維智彦	4:17.90		
▼男子走幅跳			
紀之定玲司	6m05	+0.4	
坂本 璃月	5m35	+1.0	
▼男子三段跳			
井上 裕介	13m66	+0.3	
柳原 拓海	13m37	+0.3	
長谷川 隼	NM	±0.0	
▼男子やり投			
澤田 剛	58m88		
岡本 亜哲	30m47		
▼女子 800m			
高木穂乃香	2;40.30		
▼女子やり投			
篠田 佳奈	44m90		自己新
中野 水貴	39m62		

⑤記録会等の結果

《令和3年度大阪陸協長距離第1回記録会》

ヤンマーフィールド長居

令和3年10月16日

▼男子10000m		
潮崎 羽	35:21.61	

《2021年度名古屋地区秋季陸上競技大会》

パロマ瑞穂北陸上競技場

令和3年10月16日

▼男子100m			
蝶野 浩平	11.82	-0.2	大学初

《第18回田島直人記念陸上競技大会》

維新百年記念公園陸上競技場

令和3年10月16, 17日

▼女子やり投		
澤田 剛	57m60	

《第74回新潟県縦断駅伝2021》

妙高市新潟市間

令和3年10月17日

▼3区10.0 km		
相澤 航	32:18	

《JUMP FESTIVAL in OSAKA 2021》

ヤンマースタジアム長居

令和3年10月23日

▼男子走幅跳			
仲村 快太	6m35	-2.0	
坂本 璃月	5m57	+0.2	
▼男子三段跳			
井上 裕介	13m53	-0.5	

《2021山城陸上競技協会第3回記録会》

太陽が丘

令和3年10月23日

▼男子100m			
湯谷 樹生	11.26	+3.0	
高橋 惇寿	11.60	+5.0	
川端 将貴	11.75	+3.6	
▼男子200m			
田中 大智	22.08	+3.0	
▼男子800m			
平山 悦章	2:02.17		
▼男子1500m			
岡 樹生	4:18.91		
▼男子5000m			
池田 幹	16:50.86		大学新
三嶋 友貴	16:59.73		自己新
▼女子100m			
奥村 夏子	13.80	+3.1	
▼女子200m			
稲原 南穂	28.97	+1.1	大学初

《令和3年度第5回大阪体育大学競技会

兼第1回混成競技会》

大体大

令和3年10月30, 10月31日)

▼男子十種競技		
今西 直	5162点	自己新
100m	11.61	+0.8
走幅跳	5m51	+0.4
砲丸投	9m25	
走高跳	1m55	
400m	53.84	
110mH	18m78	+0.5
円盤投	23m96	
棒高跳	3m60	自己新 タイ
やり投	46m76	
1500m	4:55.27	

五十嵐隆皓	5067 点		
100m	12.15	+0.8	
走幅跳	5m74	+0.7	
砲丸投	8m44		
走高跳	1m65		
400m	53.85		
110mH	17.29	+0.6	
円盤投	23m70		
棒高跳	3m60		
やり投	33m79		
1500m	4:57.59		
▼女子七種競技			
新保 歩	3558 点		大学新
100mH	16.71	+0.5	
走高跳	1m40		
砲丸投げ	8m27		
200m	29.41	+0.8	
走幅跳	4m34	-1.0	
やり投	28m48		
800m	2:34.34		

《2021 年度第 4 回奈良市陸協記録会》

鴻ノ池

令和 3 年 11 月 3 日

▼男子 100m			
前田 朝陽	11.49	-0.2	
小原 幹太	11.54	-1.4	自己新
酒井 良佑	11.72	-1.4	大学初 自己新
水野 廉也	11.83	-0.1	大学初
川端 将貴	12.18	-1.4	
▼男子 200m			
前田 朝陽	22.76	+1.4	
水野 廉也	23.53	-0.8	
川端 将貴	24.74	+0.7	
▼男子走幅跳			
中川 遥仁	6m10	+0.6	
▼男子三段跳			
井上 裕介	13m72	+1.7	



蒼穹ニュース 令和3年度 第5号
令和3年11月8日発行

発行所：京都大学体育会陸上競技部
編集者：尾原翔・島村夏惟・藤浦敦士(副務)
特別協力：山口佳那子・高重広・平林里和子(学連員)
写真担当：角谷幸紀・中喜多和孝

陸上競技部 HP <http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/>
陸上競技部記録 HP <http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/kiroku.htm>
関西学連 HP <http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm>